



【ごあいさつ】

4月から、本校校長に着任しました 西 千秋と申します。

平成26年度の開校時には中学部教頭として、平成28年度には副校長として3年間勤務させていただいた本校に、校長として着任できたことを嬉しく思います。開校時から変わらず、保護者の皆様や地域の皆様とともに歩んでいきたいと思っています。



今年度は、知的障害部門小学部80名、中学部61名、高等部151名、肢体不自由部門小学部19名、中学部3名、高等部4名の計318名でスタートしました。教職員は185名です。

新型コロナウイルスの感染防止のために、8日（水）始業式、9日（木）入学式は、3つの密（密閉・密接・密集）を避けて、少人数、マスク着用、部屋のドアや窓を開けて行いました。

けれども、その後は短縮授業、臨時休業と、新しい年度を心待ちにしていた子どもたちや保護者の皆様の気持ちに添えないスタートとなってしまいました。

まだまだ先が見えない状況ですが、新型コロナウイルスの恐ろしさがニュースで伝えられる中、1学期の行事は、中止または延期を決定しました。授業が再開されれば、3つの密を避けながら、手洗い・換気・マスク着用を徹底したいと思います。

本校高等部では、マスク不足が深刻な中、マスク作りを始めています。ガーゼや布、マスク用ゴム紐などを確保するのが難しい状況でしたが、何とか準備できた材料を使い、型どり作業や裁断を分担して取り組んでいます。マスク作成キットや完成品の布マスクがたくさんできあがっています。できるところから家庭や地域のお役に立てればと考えています。



【今年度ががんばってほしいこと】

始業式で、今年度ががんばってほしいことを話しました（代読の学年・学部もありました）。

- ① 毎日、元気に学校に来る。
- ② 気持ちの良いあいさつと返事をする。
- ③ 好きなこと得意なことを見つける。

中でも、『あいさつ』は人と人とをつなぐコミュニケーションの基本で、卒業後の社会生活で、とても大切です。「おはようございます」「ありがとう」「しつれいします」という『あいさつ』でいっぱいの学校にしたいと思います。

また、『はい』という返事には、相手を認めて大切にするという意味があり、漢字で書くと「拝」と書くこともできます。名前を呼ばれたり、返事を求められたりしたときには「はい」と元気よく返事をしましょう。もちろん手を挙げたり、うなずいたりしても構いません。